不登校・発達しょうがいを

あたたかく見守れる 親・支援者をめざして

どうしてこの子はこうなんだろう？
この子の感情や行動が理解できない
私の育て方が悪かったの？
どうなっちゃうんだろう

様々な問題を目の前に、こんな悩みや心の声がありませんか？
問題を抱えた子どもたちの特性を改めて理解し、家族や支援者も感情が穏やかに、あたたかく見守っていける支援の方法を今までとは違う視点で学んでみませんか？

脳の4つの信号が出せるようになる

定員 60名

日時 3/18日
13:30〜16:30（13:15開場）

会場 出雲市民会館 301
（出雲市塩冶有原町2-15 ☎0853-24-1212）

参加費 3,000円

対象 テーマに関心のある方どなたでも

講師 宗像 恒次氏

- SAT療法開発者
- 筑波大学名誉教授
- 特定非営利活動法人ヘルスカウンセリング学会 会長
- 筑波大学発ベンチャー株式会社SDS SAT療法センター センター長
- 日本ソマティック心理学協会 顧問
- 千葉県スクールアドバイザー

主催／メンタルヘルスを学ぶ会
後援／出雲市教育委員会　出雲市総合ボランティアセンター　島根日日新聞社

お申込みは裏面で

SAT療法とは右脳のひらめき連想・直観をつかう情動認知行動療法です。

講師プロフィール

むなかた つねつぐ
宗像 恒次氏

筑波大学名誉教授・SAT療法開発者
GREAT MINDS OF THE 21ST CENTURY、USA受賞者

＜略歴＞
保健学博士（東京大学医学系研究科）、UCLA 医学部神経精神医学研究所客員研究員、国立精神衛生研究所主任研究官、ハーバード大学医学部客員研究員、東京大学医学部講師、国立精神・神経センター精神保健研究所研究室長、筑波大学大学院教授ヒューマン・ケア科学専攻長・フロンティア医科学専攻、日本学術会議行動科学研連委員、日本公衆衛生学会評議員、世界保健機関(WHO) 薬物依存局顧問・エイズ世界対策局顧問、ヘルスカウンセリング学会会長、筑波大学発ベンチャーSDS SAT療法センター長、日本ソマチック心理学協会顧問、日本保健医療行動科学会顧問

＜受賞＞
Outstanding Intellectuals of the 21st Century Award, England、2010
GREAT MINDS OF THE 21ST CENTURY AWARD, NORTH CAROLINA, USA、2010
Top 100 Health Professionals, Cambridge, England、2010
MARQUIS Who's Who in the World、USA、2010・2011・2012・2013・2014・2015

内容

1. 不登校・発達しょうがいを見守れる親・支援者になるために
2. まず支援者や親から変わろう
3. 発達しょうがいとは？発達しょうがいの脳科学
4. 発達しょうがいのストレス（二次障害）を解決しよう
5. 家庭が子どもの安全基地となるために
6. 家族の情緒安定化を実現するプログラム
7. 養育者の子どもへのこだわりの意味に気づく
8. 人に対する感じ方を決める身体知覚論
9. 世界初！SAT療法の考え方 身体感覚を変えれば認知が変わる
10. 多様な個性を生かす子どもや大人のセルフケア法

お申し込み

お電話またはメールにて、氏名・電話番号・申込人数をお知らせください。

【TEL】080-1900-5864（14:00～18:00）
【E-mail】set.onlyone@kiu.biglobe.ne.jp
（担当/高橋）